



第31回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成24年5月26日（土）15:00～17:00
場 所：福岡国際会議場 5階 国際会議室 501
〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1
参加費：1,000円 募集定員：260名 ※事前申込みが必要です

【申込方法】

- 必要事項①所属施設名・住所（施設に所属してなければご自宅の住所で結構です）②氏名（ふりがな）③電話番号④「第31回講習会受講希望」と明記のうえ、ハガキもしくはFAXにて下記事務局までお申ください。申込締切日は平成24年5月17日（木）です（当日消印有効）。5月22日（火）までに先着260名様へ入場券を送付します。入場券がお手元に届かない場合はお申込みが受け付けられておりませんので、下記事務局までご連絡ください。
- 入場券がない場合は受講できません。当日の申込は受付けておりませんのでご了承ください。**
- 当委員会ホームページ（<http://fukuokahaisetsu-net.org/>）でも申込を受け付けておりますので、ぜひご覧ください。
- 締切日以降は、お電話にて直接お問合せください。締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。
- お申込によりご提供いただく個人情報は、講座出欠および以外の目的で使用されることはありません。

～プログラム～

開会の挨拶：宮崎 良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

テーマ：介護保険制度・認知症

座長：山口 秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

講師：平野 賴子 先生【看護師・ケアマネージャー】（NPO 法人緩和ケア支援センター）ミュニティ 理事長）

「24年度、医療・介護報酬改定について

～高齢者の在宅療養を支えるために～

～ 講師の先生からのコメント～ 「高齢社会」の到来と言われ続け、団塊の世代の私としては、自分の問題としてこれから「在宅医療・介護」を考えざるを得ないと考えています。国も毎年、増え続ける高齢者医療・介護給付費用の財源に頭を悩ませているようですが、消費税率の引き上げも未だに決まりず、先行き心配なことだらけです。そのような中で、4月に24年度、医療・介護報酬の改定が行われました。国の方針として、「在宅」「看取り（施設を含めて）」を進めていきたいと、改定の重点項目に挙げられていますが、果たして、皆さんのが望むように安心して住み慣れた場所で最期まで過ごすことができる改定になっているのか、考えてみたいと思います。

講師：藤木 富士夫 先生（原三信病院脳神経内科 部長）

「認知症にともなうおしつこのトラブル」

～ 講師の先生からのコメント～ 福岡市の65歳以上の高齢者人口は、24.4万人。そのうち、約2.2万人が認知症患者と言われている。生活への支障のため介護が必要となる要介護Ⅲ以上の認知症高齢者は1.2万とそのうちの半数を占めている。認知症の行動・心理症状（BPSD）による問題行動は大きな社会問題となっている。中でも排尿トラブルに関する問題行動は介護負担を増大させるばかりでなく、人間関係に大きな歪みを生むきっかけとなる。今回はこうした認知症に伴う排尿トラブルに焦点を当てて、その原因や対応方法などについて考えてみたい。

閉会の挨拶：武井 実根雄 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局長）

共催：特定非営利活動法人福岡高齢者排泄改善委員会・小野薬品工業株式会社
後援：福岡市泌尿器科医会（予定）・福岡市医師会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL: 092-282-5910 FAX: 092-282-5812

～会場までのアクセス～

